

報道関係者各位

2025 年 6 月 16 日

エアモビリティ株式会社

## イギリスの空飛ぶクルマ機体開発企業 ARC エアロシステムズ社とパートナーシップを締結

空飛ぶクルマの安心・安全な航行のためのプラットフォームを開発するエアモビリティ株式会社（東京都港区、代表取締役社長&CEO：浅井 尚）と、ARC エアロシステムズ社（イギリス、Founder&CEO：Seyed.Mohseni、以下 ARC 社）は、ARC 社の垂直離着陸型航空機（Pegasus P3 等）の日本およびアジア太平洋地域への導入を進めるため、2025 年 5 月 13 日にパートナーシップの覚書（MoU）を締結しました。



Arc Aerosystems Pegasus P3



Arc Aerosystems Linx P9

### 【背景と目的】

垂直離着陸が可能な eVTOL（空飛ぶクルマ）は、世界各国で開発が進められており、現在、試験・認証プロセスに入っており、2026 年以降の運航開始が見込まれています。

ARC 社は既に複数の機体ラインナップを持っており、その一つである Pegasus P3 は米連邦航空局（FAA）の認定を受けた初のヘリコプター以外の VTOL 機になり、早期の市場展開が期待出来ると考えております。性能的にも、他の eVTOL モデルに比べて、特に消費電力の低減、安全性の向上、メンテナンスコストの削減等の複数の利点を有します。将来的には、Pegasus P3 を日本の緊急医療用途に活用・展開する可能性についても、両社で検討を進めます。

また、無人航空機である C-600 は欧州最大級の機体で、全幅 8 メートル超、最大積載量 100 キログラム、航続距離は最大 400 キロメートルに達します。C150 は最大積載量 20 キログラム、航続距離は最大 400 キロメートルの性能を有します。



ARC Aerosystems C600

■ ARC 社 CEO Seyed.Mohseni のコメント

本提携は、世界でも有数の先進的かつイノベーションに前向きな航空市場である日本で、当社の航空機を展開するまたとない機会です。

■ エアモビリティ株式会社 代表取締役社長&CEO 浅井尚のコメント

ARC 社は実績と認証可能性を備えた有人・無人航空機を提供しており、日本で成長中の空飛ぶクルマのエコシステムにとって大きな力となり得ます。両社の協力により、安全・効率的・持続可能なモビリティの実現を目指します。

■ エアモビリティ株式会社について

エアモビリティ株式会社は、2019 年 8 月 1 日設立以来、空飛ぶクルマの安心・安全な航行に必要なシステムプラットフォームである ASCP（AirMobility Service Collaboration Platform）の自社開発をはじめ、販売プラットフォームを通して海外の空飛ぶクルマメーカーの日本市場参入の支援を行っております。

また、経済産業省と国土交通省が設立した「空の移動革命に向けた官民協議会」や、大阪府が主催する「空の移動革命社会実装 大阪ラウンドテーブル」の構成員に選出され、日本における空飛ぶクルマ産業に創成期からコアメンバーとして参画しております。

【会社概要】

会社名：エアモビリティ株式会社

代表者：代表取締役社長&CEO 浅井 尚

所在地：東京都港区赤坂 3-5-5 ストロング赤坂ビル 9F

URL：<https://www.airmobility.co.jp>

【お問い合わせ先】

エアモビリティ株式会社 担当：田中

TEL: 03-6273-1288

<https://airmobility.co.jp/contact/>